

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|-------------------------------|--|---------------------------|--|---------------------------------------|--|--------------------------------------|--|-----------------------------|--|--------------------------------------|---|-------------------------------------|---|---|---|
| <p>科目名：手話</p> | <p>選必</p> | <p>1 単位 (45時間)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(Sign Language) 履修年次/時期：3年次 後期 授業形態：講義・演習 担当教員： 板橋かおり・原田秀子</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>学修目的</p> | <p>聴覚障害のある患者に対して歯科衛生士として安心・安全な医療を行うため、ろう者（手話を母語とする聞こえない人たち）のコミュニケーション言語である手話を学ぶ。 また、高齢難聴者などろう者以外の聴覚障害者も増加している社会の現状を踏まえ、手話以外のコミュニケーション方法（筆談・口話・その他）での意思疎通についても実践的に学習する。 これからの社会において必要とされる、人間理解に優れ、地域社会に貢献できる歯科衛生士の養成を目的とする。 CP1、4、5に関連する。科目№S3D15S14</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>この科目が目的としている DP</p> | <p>1. 医療専門職としての倫理観を有する。</p> <p>2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。</p> <p>3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。</p> | <table border="1"> <tr> <td>(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP</p> | (1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。 | | (2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。 | | (1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。 | | (2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。 | | (3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。 | | (1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。 | ◎ | (2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。 | ○ | (3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。 | ○ |
| (1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。 | ◎ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>到達目標</p> | <p>① 聴覚障害について正しい知識を持ち、歯科衛生士として聴覚障害者に必要な配慮や環境整備ができる。 ② 歯科衛生士の業務に必要な問診、口腔内観察、ブラッシング指導、窓口での対応などを手話でやりとりできる。 ③ あいさつや自己紹介、簡単な日常会話が手話で表現でき、相手の手話を読み取れる。 ④ 相手や状況に合わせて、手話とそれ以外のコミュニケーション方法（筆談・口話・その他）を提案、選択、実践できる。 ⑤ 鏡や顎模型などを利用して、視覚的な工夫ができ、聴覚障害者にもわかりやすい説明や指導ができる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>授業概要</p> | <p>授業はろう講師と健聴講師のペアで進める。「手話の学習が初めて」というレベルを想定してスタートする。 あいさつ、自己紹介、簡単な日常会話などの一般的な手話と、歯科衛生士として必要な問診、口腔内観察、ブラッシング指導、窓口対応などの専門的な手話を学ぶ。手話のネイティブであるろう講師からは生き生きとした手話の表現技術を、通訳士である健聴講師からは手話の特徴や表現上のポイントなどの解説を聞き、無理なく、理解し楽しみながら「現場で通じる手話表現」を少しずつ習得していく。 手話は書きとることができない言語なので、授業中にスマートフォンの自撮り機能を使って、その日学んだ手話表現を記録する（デジタルノートイク）。 一般教室では聴覚障害者に対する正しい知識（聴覚障害の種類、発生原因等）や、聴覚障害者の生活の工夫（福祉機器体験を含む）などの講義を行う。講義を通じて聴覚障害のある人の状況を理解し、接する際に必要なマナーや配慮を身につける。 実習室のユニットを利用した演習では、耳栓を使用しての疑似体験学習なども織り交ぜて行う。歯科衛生士役と聴覚障</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|-------------|--|
| | <p>害者の患者役、双方を交互に体験する。ブラッシング指導においては、事前の計画や準備、実施、評価等をグループワークで行う。</p> <p>また、手話が通じなかった場合、相手の手話がわからなかった場合などの意思疎通をどのようにするか、聴覚の代わりに視覚的な情報をどのように活用していくか、「様々な聴覚障害者に臨機応変に対応できる歯科衛生士」を目指して授業展開する。</p> |
| 評価方法 | <p>修了時試験 70%</p> <p>授業への参加度・表現技術力 20%</p> <p>小テスト・課題 10%</p> <p>試験に対するフィードバックは試験終了後の最終授業内で行う</p> |
| 予習・ 復習時間 | <p>【予習】30分 (テキストを読んでおく)</p> <p>【復習】30分 (授業中に撮った「デジタルノート」を使い、手話の復習をすること)</p> |
| 教科書 | やってみよう！手話で簡単コミュニケーション (口腔保健協会) (4,000円+税) |
| 参考書 | 授業の中で担当教員がそれぞれ提示する。 |
| オフィス 連絡先 | <p>講義日 (講義時間前後 30分) 4号館 2階 非常勤講師室 不在時はメールで連絡してください。</p> <p>shuwa@kdu.ac.jp</p> |

| 実施回 | 授業計画 | 予習・復習・キーワード | 担当 |
|---------|---|---|------------------------|
| 1 (/) | オリエンテーション・あいさつの手話 ① 手話の授業の受け方、上達のポイント、これから学んでいく内容とその目的を理解する。 ② 手話でのあいさつ表現を読み取り、また、適切に表出できる。 | [予習] テキスト「序にかえて」「推薦のことば」を読む [復習] デジタルノートテイクした手話を練習する [キーワード] あいさつの手話 | 講義 ○板橋 演習 ○原田 |
| 2 (/) | コロナ感染予防・ユニットで伝えよう ① 新型コロナウイルス感染予防に必要な手話表現や対応のポイントを身につける。 ② 実際のユニットを使い、手話表現するときに必要な配慮を実践できる。 | [予習] ユニットで手話を使うときの注意点を予測して書く [復習] デジタルノートテイクした手話を練習する [キーワード] コロナ感染予防の手話 | 講義 ○板橋 演習 ○原田 |
| 3 (/) | 口腔内観察Ⅰ ① 歯科衛生士として必要な問診を手話で表現できる。 ② コミュニケーション方法や痛む部位などを手話で確認できる。 | [予習] テキスト P.4～10 を読む [復習] デジタルノートテイクした手話を練習する [キーワード] 問診の手話 | 講義 ○板橋 演習 ○原田 |
| 4 (/) | 口腔内観察Ⅱ ① 歯石を取る、X線を撮る等の歯科特有の手話を工夫して表現できる。 ② 聴覚障害者の状況を理解したわかりやすい説明ができる。 | [予習] テキスト P.11～17 を読む [復習] デジタルノートテイクした手話を練習する [キーワード] 施術・治療の手話 | 講義 ○板橋 演習 ○原田 |
| 5 (/) | 疑似体験 ① 耳栓を用いて聴覚障害者の疑似体験をし、その心理状況について理解する。 ② 不安なく医療を受けるために必要な配慮を工夫できる。 | [予習] テキスト P.2～3 を読む [復習] デジタルノートテイクした手話を練習する [キーワード] 聞こえない世界を感じてみよう | 講義 ○板橋 演習 ○原田 |
| 6 (/) | 名前の表現・指文字 ① 手話で相手の名前を尋ねることができる。 ② 手話で名前表現と読み取りができる。 ③ 指文字について理解する。 | [予習] テキスト P.30～31 を読む [復習] デジタルノートテイクした手話を練習する [キーワード] 名前の手話 | 講義 ○板橋 演習 ○原田 |
| 7 (/) | 聴覚障害の基礎知識 ① 聞こえのしくみ、聴覚障害の種類や特徴について説明できる。 ② 様々なコミュニケーション方法について実践できる。 | [予習] テキスト P.2～3 を読む [復習] デジタルノートテイクした手話を練習する [キーワード] 聞こえと伝え方の工夫 | 講義 ○板橋 演習 ○原田 |
| 8 (/) | 聴覚障害者の暮らしの工夫 ① 聴覚障害のある人の生活上の不便について説明できる。 ② 不便を解消するための福祉機器や暮らしの工夫について説明できる。 | [予習] テキスト P.1・33 を読む [復習] デジタルノートテイクした手話を練習する [キーワード] バリアフリーの社会へ | 講義 ○板橋 演習 ○原田 |

| | | | |
|----------|--|---|---|
| 9 (/) | <p>手話の特徴Ⅰ</p> <p>① 視覚言語である手話の特徴として、表現に込められた強弱の意味を説明できる。</p> <p>② あいづち表現など、日常的に用いられている表現を読み取り、また、適切に表出できる。</p> | <p>[予習] 日常的な「あいづち」を書く</p> <p>[復習] デジタルノートテイクした手話を練習する</p> <p>[キーワード] あいづちの手話</p> | <p>講義</p> <p>○板橋</p> <p>演習</p> <p>○原田</p> |
| 10 (/) | <p>手話の特徴Ⅱ</p> <p>① 空間を用いた時制表現が理解でき、読み取り、表出ができる。</p> <p>② 5W1H にあたる手話表現でコミュニケーションができる。</p> | <p>[予習] テキスト P.32 を読む</p> <p>[復習] デジタルノートテイクした手話を練習する</p> <p>[キーワード] 5W1H の手話</p> | <p>講義</p> <p>○板橋</p> <p>演習</p> <p>○原田</p> |
| 11 (/) | <p>ブラッシング指導 《グループワーク》</p> <p>① 聴覚障害のある患者に対して、手話や視覚情報等を利用して、ブラッシング指導を計画する。</p> <p>② 実際にブラッシング指導を行い、相手からの質問に対し、手話や筆談等で答えることができる。</p> <p>③ 他グループの発表を適切に評価できる。</p> | <p>[予習] テキスト P.18～27 を読む</p> <p>[復習] デジタルノートテイクした手話を練習する</p> <p>[キーワード] ブラッシング指導の手話</p> | <p>講義</p> <p>○板橋</p> <p>演習</p> <p>○原田</p> |
| 12 (/) | <p>ブラッシング指導の振り返り</p> <p>① 実際に指導を行って、うまくできたこと、難しかったことなど検討し、難しかったことについては、その原因を考え、具体的な改善策を立てることができる。</p> | <p>[予習] 評価に基づいた改善計画を書く</p> <p>[復習] デジタルノートテイクした手話を練習する</p> <p>[キーワード] 聞こえない人にわかりやすい説明</p> | <p>講義</p> <p>○板橋</p> <p>演習</p> <p>○原田</p> |
| 13 (/) | <p>窓口での手話</p> <p>① 会計、薬の説明、次回の予約など、実務に必要な手話でのやりとりができる。また、スムーズな進行のため具体的な手話の補足方法を実践できる。</p> <p>② 聴覚障害のある人との連絡手段等について、どのようなものがあるか説明できる。</p> | <p>[予習] テキスト P.24～27 を読む</p> <p>[復習] デジタルノートテイクした手話を練習する</p> <p>[キーワード] 窓口での手話</p> | <p>講義</p> <p>○板橋</p> <p>演習</p> <p>○原田</p> |
| 14 (/) | <p>復習・応用会話</p> <p>① 今までに学習してきた手話表現で表情豊かに会話ができる。</p> <p>② 日常会話によく使われる手話表現でコミュニケーションすることで、患者の状況把握ができる。</p> | <p>[予習] テキスト P.28～29 を読む</p> <p>[復習] デジタルノートテイクした手話を練習する</p> <p>[キーワード] 会話の幅を広げよう</p> | <p>講義</p> <p>○板橋</p> <p>演習</p> <p>○原田</p> |
| 15 (/) | <p>試験・まとめ</p> <p>① 学んできた内容の試験を行う。</p> <p>② 試験用紙回収後、答え合わせと解説、フィードバック。</p> <p>③ 手話のできる歯科衛生士としての意識、知識、スキルの確認。</p> | <p>[予習]</p> <p>これまで学んだ知識や手話技術を見直しておくこと。</p> <p>[キーワード] 学びつづける歯科衛生士として</p> | <p>講義</p> <p>○板橋</p> <p>演習</p> <p>○原田</p> |